



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)曾根 拓
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)古市 健治 (TEL)06(6411)1236
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 3,694 | △5.8 | 19 | △77.8 | △4 | — | △45 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 3,922 | 11.3 | 88 | — | 61 | — | 65 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △71百万円(—%) 23年3月期第3四半期 63百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | △3 68 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 5 32 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 4,894 | 794 | 15.6 |
| 23年3月期 | 4,959 | 866 | 16.8 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 764百万円 23年3月期 834百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | — | — | 0 00 | 0 00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 0 00 | 0 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,000 | △4.5 | 45 | △62.0 | 12 | △85.5 | △36 | — | △2 93 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期3Q | 12,317,000株 | 23年3月期 | 12,317,000株 |
| 24年3月期3Q | 46,312株 | 23年3月期 | 44,867株 |
| 24年3月期3Q | 12,271,213株 | 23年3月期3Q | 12,272,959株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) セグメント情報等 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| (6) 重要な後発事象 | 10 |
| 4. 補足情報 | 11 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興が進展するのに伴い、企業活動における設備投資は増加基調に転じ、個人消費も持ち直す等、穏やかながらも回復の兆しが見られました。しかしながら、本格的な復興にはまだ時間を要する状況下であり、原発や電力供給不安等の国内問題に加え、欧米の財政不安による円高や世界経済の減速等による輸出環境の悪化懸念等、先行きに対する不透明感は増大し、情勢を見極めることが困難な状況が続きました。

このような事業環境のなか、当社グループ(当社及び連結子会社)の主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、平成23年暦年の住宅着工戸数が834千戸と前年比2.6%の増加となりましたが、震災直後は既存工事の遅れや中断等により売上げが激減し、また、梱包業界向につきましても国内の荷動きの停滞と輸出減の影響を受け、総じて需要は弱含みの横ばいで推移しました。さらに鉄鋼原料の高騰に伴い、鉄鋼メーカーは値上げを実施し、当社も製品価格への転嫁を図るべく今年度初めに値上げを発表しましたが、震災後には円高が進行し、安価な輸入商品が復興需要を見込んで大量に流入した結果、市場価格を押し下げました。このため、前回予想時に見込んでいた線材価格の値上り分の製品価格への転嫁が進まず、採算が悪化しました。

また、電気・輸送機器向事業は、電気、IT関連、自動車業界等の出荷が順調に推移していましたが、東日本大地震により状況が大きく変わりました。連結子会社の株式会社ナテックの工場は岩手県奥州市にあり、工場の被災は限定的であったものの、3月から5月にかけてサプライチェーンの分断・停滞により、売上高が激減しました。また6月以降も円高による需要家の生産拠点の海外移管や家電業界の不振等で売上高が低水準で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,694百万円となり、電気・輸送機器向が東日本大震災により激減し、前年同四半期と比べ228百万円の減収となりました。営業利益は、震災の影響による売上高の減少と、原材料価格の値上がりによる製造コストのアップにより、19百万円となり前年同四半期と比べ69百万円の大幅な減益となりました。また、経常利益は、4百万円の損失(前年同四半期は61百万円の利益)となりました。また、震災による損失を特別損失として38百万円計上しました結果、四半期純利益は45百万円の損失(前年同四半期は65百万円の利益)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向事業は、震災による既存工事の遅れ、中断等による需要の減少がありましたが、拡販に努めた結果、当事業の売上高は、前年同期比0.7%増の2,848百万円となりました。しかし、原材料価格の値上がりを販売価格に転嫁できなかったことにより、当事業のセグメント利益は前年同四半期に比べ36百万円減少し、122百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、震災によるサプライチェーンの分断・停滞、産業の空洞化等により平成23年3月以降の売上高は大幅に減少しました。当事業の売上高は、前年同期比22.7%減の846百万円となり、当事業のセグメント利益は前年同四半期に比べ22百万円減少し、46百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,894百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比65百万円減)となりました。流動資産は2,762百万円(前年度末比39百万円増)となり、これは主に受取

手形及び売掛金が、69百万円増加したことによるものであります。固定資産は、2,131百万円(前年度末比105百万円減)となり、有形固定資産の設備投資が60百万円に対して減価償却費が121百万円であったことと、投資有価証券が第3四半期連結会計期間末の株価の下落により、42百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、4,099百万円(前年度末比5百万円増)となりました。流動負債は、2,792百万円(前年度末比98百万円減)となり、これは支払手形及び買掛金が、主に電気・輸送機器向が東日本震災の影響による生産調整等により、54百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、長期借入金が増加したこと等により、前年度末に比べ103百万円増加しました。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,962百万円(前年度末比91百万円増)となりました。これは、震災により利益が大幅に減少すると予想されるため、年度資金の折り返しを含め、長期運転資金として550百万円新たに借入し、長期借入金の返済が414百万円であったこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、794百万円となり、前年度末に比べ71百万円減少しました。これは、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失が45百万円となったことと、株式の時価が下落し、その他有価証券差額金が△0.9百万円となり25百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の16.8%から15.6%となり、1株当たり純資産は68.03円から62.29円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日に発表いたしました平成24年3月期の通期連結業績予想は、本日平成24年2月8日の「業績予想の修正に関するお知らせ」により修正いたしました。

建設・梱包向のうち、主たる需要先である住宅建設は厳しい雇用・所得環境、景気の先行き感の厳しさ等から、住宅着工戸数が9月以降4ヶ月連続で前年同月の水準を下回っており、また電気・輸送機器向も円高の影響で、家電メーカーの海外へのシフトが加速し、想定以上に産業の空洞化が進み、減収減益は避けられない状況にあります。第4四半期連結会計期間は、線材価格が市況を反映し、下がったので採算は改善するものの、第3四半期連結累計期間の落ち込みを全てカバーするのは難しい状況であります。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、上述の状況を踏まえ、次のような方針を掲げています。

(建設・梱包向)

生産効率・高品質の追求、経費削減、OEMの深化等は継続して行いますが、需要が減り、輸入商品が増えるなかで、売上げを維持・拡大していくためには、既存品に比べ顧客ニーズによりマッチした製品を持つことが不可欠であると考えています。一昨年、特許を取得した「木割れ最強釘」は、市場の評価も高く、順調に拡販できており、さらに販売が拡大する見込みであります。「木割れ最強釘」に続く、新製品も開発が進んでおります。顧客ニーズを製販一体で広く収集し、新製品の開発にチャレンジし続け、拡販に繋げてまいります。

(電気・輸送機器向)

汎用品のQCDを徹底するとともに、新製品の開発・拡販、国内の需要構造の変化に対応した販売先構成の変革等で、売上げの維持・拡大を図ってまいります。

当連結会計年度(平成24年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,000百万円、連結営業利益45百万円、連結経常利益12百万円、連結当期純損失36百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることになりました。この税率変更により、法人税等は927千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 522,540 | 468,025 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,254,090 | 1,323,580 |
| 商品及び製品 | 541,366 | 560,382 |
| 仕掛品 | 185,457 | 192,910 |
| 原材料及び貯蔵品 | 185,701 | 188,207 |
| 繰延税金資産 | 21,215 | 5,148 |
| その他 | 17,368 | 28,553 |
| 貸倒引当金 | △4,733 | △4,453 |
| 流動資産合計 | 2,723,007 | 2,762,354 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 673,482 | 641,898 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 527,581 | 506,808 |
| 土地 | 793,421 | 793,421 |
| その他(純額) | 28,854 | 27,741 |
| 有形固定資産合計 | 2,023,339 | 1,969,869 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 21,267 | 15,533 |
| その他 | 24,194 | 21,657 |
| 無形固定資産合計 | 45,462 | 37,191 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 133,470 | 90,991 |
| その他 | 59,334 | 57,772 |
| 貸倒引当金 | △24,665 | △24,070 |
| 投資その他の資産合計 | 168,139 | 124,694 |
| 固定資産合計 | 2,236,940 | 2,131,755 |
| 資産合計 | 4,959,948 | 4,894,109 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 871,059 | 816,329 |
| 短期借入金 | 1,817,060 | 1,792,200 |
| 未払法人税等 | 3,900 | 2,448 |
| 賞与引当金 | 31,841 | 17,131 |
| その他 | 167,278 | 164,542 |
| 流動負債合計 | 2,891,139 | 2,792,652 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,053,731 | 1,169,935 |
| 繰延税金負債 | 36,989 | 3,983 |
| 退職給付引当金 | 84,169 | 108,478 |
| 役員退職慰労引当金 | 25,213 | 21,600 |
| 資産除去債務 | 2,462 | 2,487 |
| 固定負債合計 | 1,202,565 | 1,306,484 |
| 負債合計 | 4,093,705 | 4,099,136 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 615,216 | 615,216 |
| 資本剰余金 | 40,181 | 40,181 |
| 利益剰余金 | 157,752 | 112,617 |
| 自己株式 | △2,760 | △2,844 |
| 株主資本合計 | 810,389 | 765,170 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 24,486 | △965 |
| その他の包括利益累計額合計 | 24,486 | △965 |
| 少数株主持分 | 31,366 | 30,767 |
| 純資産合計 | 866,243 | 794,973 |
| 負債純資産合計 | 4,959,948 | 4,894,109 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 3,922,586 | 3,694,526 |
| 売上原価 | 3,182,108 | 3,052,305 |
| 売上総利益 | 740,477 | 642,220 |
| 販売費及び一般管理費 | 651,783 | 622,540 |
| 営業利益 | 88,694 | 19,680 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 51 | 23 |
| 受取配当金 | 2,539 | 3,762 |
| 受取賃貸料 | 4,950 | 4,950 |
| 技術指導料 | 1,800 | 1,800 |
| その他 | 7,508 | 8,482 |
| 営業外収益合計 | 16,849 | 19,018 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34,428 | 34,313 |
| その他 | 9,358 | 8,441 |
| 営業外費用合計 | 43,786 | 42,755 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 61,757 | △4,057 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 79 | 915 |
| 投資有価証券売却益 | 17,935 | — |
| 特別利益合計 | 18,014 | 915 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,387 | 1,779 |
| ゴルフ会員権売却損 | 2,442 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 664 | — |
| 投資有価証券評価損 | — | 306 |
| 災害による損失 | — | 38,752 |
| 特別損失合計 | 4,494 | 40,838 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 75,276 | △43,979 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,033 | 1,957 |
| 法人税等調整額 | 70 | △182 |
| 法人税等合計 | 2,103 | 1,774 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 73,173 | △45,753 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 7,877 | △619 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 65,295 | △45,134 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 73,173 | △45,753 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △9,224 | △25,432 |
| その他の包括利益合計 | △9,224 | △25,432 |
| 四半期包括利益 | 63,948 | △71,185 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 56,079 | △70,586 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 7,869 | △599 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 合計 |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|----------|-----------|
| | 建設・梱包向 | 電気・ 輸送機器向 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,827,698 | 1,094,887 | 3,922,586 | — | 3,922,586 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 95 | 5,140 | 5,235 | △5,235 | — |
| 計 | 2,827,793 | 1,100,027 | 3,927,821 | △5,235 | 3,922,586 |
| セグメント利益 | 158,438 | 68,472 | 226,910 | △138,216 | 88,694 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 226,910 |
| セグメント間取引消去 | △4,280 |
| 全社費用(注) | △133,936 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 88,694 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 合計 |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|----------|-----------|
| | 建設・梱包向 | 電気・ 輸送機器向 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,848,369 | 846,156 | 3,694,526 | — | 3,694,526 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 95 | 3,401 | 3,496 | △3,496 | — |
| 計 | 2,848,464 | 849,558 | 3,698,022 | △3,496 | 3,694,526 |
| セグメント利益 | 122,326 | 46,253 | 168,579 | △148,899 | 19,680 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 168,579 |
| セグメント間取引消去 | △2,019 |
| 全社費用(注) | △146,880 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 19,680 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 前年同四半期比(%) |
|----------|--|------------|
| 建設・梱包向 | 2,384,849 | 3.8 |
| 電気・輸送機器向 | 709,938 | △21.4 |
| 合計 | 3,094,788 | △3.3 |

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 前年同四半期比(%) |
|----------|--|------------|
| 建設・梱包向 | 2,837,589 | △0.3 |
| 電気・輸送機器向 | 741,185 | △33.7 |
| 合計 | 3,578,774 | △9.7 |

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 前年同四半期比(%) |
|----------|--|------------|
| 建設・梱包向 | 2,848,369 | 0.7 |
| 電気・輸送機器向 | 846,156 | △22.7 |
| 合計 | 3,694,526 | △5.8 |

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

| 相手先 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | |
|------------|--|-------|--|-------|
| | 金額(千円) | 割合(%) | 金額(千円) | 割合(%) |
| 大東スチール株式会社 | 463,176 | 11.8 | 549,992 | 14.9 |

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。